

# 新幹線プレス

2013年2月9日

No.98

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## **JR東海ユニオン＝御用組合委員長 賀詞交歓会あいさつで戯言をのたまわく！ 団体交渉とは何かも分からずにワメキちらす！！**

JR 東海ユニオン＝御用組合の松尾委員長がした自らの組合の賀詞交歓会主催者あいさつで、JR 東海労が組合員の出向先の会社と団体交渉したことに對して批判ならざる批判をしていることが明らかになりました。これは、「交通経済社」発行の「ACCESS」355号に掲載されています。

## **何を根拠に革マル派組合と規定したのか!?**

松尾委員長は、「革マル派組合がグループ会社に直接団交を申し入れる事態も起きました」と言っていますが、革マル派組合とはどういうことでしょうか。JR 東海労と言及していませんが、昨年 JR 東海のグループ会社と団体交渉したのは JR 東海労だけです。どうやらわれわれのことを革マル派組合と言っているようです。何を根拠にわれわれのことを革マル派組合と規定したのか明確にしてもらわなくてはなりません。

また、われわれ JR 東海労は団体交渉を申し入れただけではなく実際に交渉しています。あなた方はグループ会社労働者の労働条件向上のために何か運動を展開していますか？

## **団体交渉は、経営陣批判ではなく労働条件の向上のため!**

松尾委員長は、「経営陣を批判することで善良な社員への拡大を狙った」と言っていますが、あまりにもうがった見方をしています。

そもそも、団体交渉とは、そこに働く労働者の労働条件向上のために行うという基本的なことをわかっていないようです。これは、御用組合としての立ち振る舞いしかできないからの逆証明でもあります。

また、「労組未結成の会社なら、あわよくば革マル派組合を結成しようという意図見え隠れしています」とも



昨年は革マル派組合が出向組合員を抱えているという理由でグループ会社に直接団交を申し入れる事態も起きました。当該会社の経営陣を批判することで善良な社員への拡大を狙ったのは疑うべくもなく、労組未結成の会社なら、あわよくば革マル派組合を結成しようという意図も見え隠れしています。まじめに働く青年が共産党や革マル派の魔手にかかり進路を見失ってしまう悲劇を繰り返してはなりません。

言っていますが、われわれが団体交渉をした新幹線エンジニアリングも新幹線メンテナンス東海も労働組合は存在します。

しかも、JR 連合の傘下である JR 東海連合の加盟単組です。両組合ともどのような活動を展開しているのか見えませんが、そこで働く労働者には改善要求があり、その要求を加盟労組が吸い上げてくれないという不満は耳にしています。

## **魔手にかかる悲劇とは!?**

松尾委員長は、「まじめに働く青年が共産党や革マル派の魔手にかかり進路を見失ってしまう悲劇を繰り返してはなりません」と、締めくくっています。

魔手とは具体的に何であり、繰り返してはならない悲劇とは何でしょう？

私たちの組合活動としての団体交渉と党派の「魔手」とどのような関係があるのかよくわかりませんが、JR 東海のグループ会社にどのような魔手が伸びたのでしょうか？

革マル派と同列に並べて国政政党の要件を満たしている「共産党」を捕まえて「魔手」と言い放っているのですから確固たる事実があつての発言でしょうね。

共産党に加入することが「進路を見失ってしまう。」というのであれば、思想・信教の自由を否定していることであり、労働組合の指導者として失格と言わざるを得ません。

## **他労組批判の前にやるべきことがあるのでは？**

私たちの団体交渉の開催という労働組合活動がよほど気に食わないようですが、私たちは、今回の団体交渉で別に東海ユニオンの批判をしたわけではありません。それにもかかわらず、向きになって団体交渉開催について批判をしています。なぜ、向きになる必要があるのでしょうか？

責任組合を自称してはいるものの労働者のための運動を展開していないことを隠すことが目的なののでしょうか？それとも、会社幹部から言われたのでしょうか？

いずれにしても、他労組の批判をする前に自らの運動がどうなっているのかをとらえ返してみるべきです。

春闘本番をむかえた今、やるべきことはいっぱいあります。とりわけ、検修体制見直しで車両所の労働者は労働強化を強いられます。また、仕業検査の施行番線変更に伴って新幹線メンテナンス東海の労働者たちは大きな労働条件変更を迫られています。こうしたところで、どうたたかうかで労働組合の真価が問われます。

**御用組合からのいわれなき批判を跳ね返し、さらなる闘いに決起しよう！  
2013 JR 春闘を職場からのたたかいで構築しよう！  
検修体制見直しに反対し、出向先労働条件改悪に反対しよう！**